

## 頑張る地方応援プログラム

都道府県名	さがけん 佐賀県	市町村名	たけおし 武雄市												
プロジェクト名	まちなか再生プロジェクト	新規・継続の 区分	継続												
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要)</p> <p>新しい「武雄の顔づくり」による中心市街地の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉と歴史・文化等を融合し広域からの交流人口の拡大を図る。</li> <li>・地域資源を活かしたにぎわいと活力のある中心市街地の再生を目指す。</li> <li>・アクセス道路を改善し歩行者の安全性、快適性の向上を図る。</li> </ul> <p>(具体的な成果目標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>従前値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光客数</td> <td>1,268千人/年 (平成15年度)</td> <td>1,305千人/年 (平成21年度)</td> </tr> <tr> <td>歩行者等通行量 (川端通り)</td> <td>811人/日 (平成16年度)</td> <td>1,000人/日 (平成21年度)</td> </tr> <tr> <td>交通事故件数</td> <td>24件/年 (平成15年度)</td> <td>12件/年 (平成21年度)</td> </tr> </tbody> </table>			指 標	従前値	目標値	観光客数	1,268千人/年 (平成15年度)	1,305千人/年 (平成21年度)	歩行者等通行量 (川端通り)	811人/日 (平成16年度)	1,000人/日 (平成21年度)	交通事故件数	24件/年 (平成15年度)	12件/年 (平成21年度)
指 標	従前値	目標値													
観光客数	1,268千人/年 (平成15年度)	1,305千人/年 (平成21年度)													
歩行者等通行量 (川端通り)	811人/日 (平成16年度)	1,000人/日 (平成21年度)													
交通事故件数	24件/年 (平成15年度)	12件/年 (平成21年度)													
プロジェクトの期間	平成17年度～平成21年度	政策分野の分類 ( ~ )													
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	<a href="http://www.city.takeo.lg.jp/shisei/plan/ganbaru/">http://www.city.takeo.lg.jp/shisei/plan/ganbaru/</a>														
プロジェクトを構成する具体の事業・施策															
名称	事業概要	総事業費 (単位:千円) (うちH21事業費)													
中央公園整備	高架・区画により広幅員歩道を備えた20m道路に拡幅整備すると共に街なか広場や中央公園を市民や来訪者が出会う交流の場として一体的に整備する。 A = 3,516㎡	32,700 (0)													
川端通りの憩いの遊歩道整備	メイン道路と並行する川端どおりについては武雄を訪れる人への魅力を向上させる為に、昼間は、高架下と水辺が一体となった「憩いの空間」として、また、夜間は夜の賑わいを演出する「ナイトラウンジゾーン」として各種イベントの開催を交えながら飲食店街と隣接して公共的空間をつくり駅舎から中心市街地へとアクセスする安全で快適な憩いの遊歩道を整備する。 L = 280m    w = 5.6m	51,700 (0)													
観光交流センター	観光客をはじめ広域から鉄道を利用して武雄を訪れる人々の玄関口として、鉄道高架事業による新駅舎や、観光交流センター(高架下)等、新たな「武雄の顔」として、駅関連の施設づくりを進め交流人口の拡大を図る。 公衆トイレ84.0㎡ 地域交流センター108.0㎡ 催事場68.0㎡ 物販108.0㎡	158,600 (0)													
武雄北部土地区画整理事業	JR佐世保線と近接並行している幅員狭小のメイン道路やシンボルロード及び不規則な交差点は高架・区画により広幅員歩道を備えた20m道路に拡幅整備し、街なか広場や中央公園と一体的に整備することで市街地へ通じる安全で快適なアクセス道路とする。 A = 9.0ha	535,700 (27,500)													

サイン計画と表示板設置	温泉を中心とした観光保養都市として、景観に配慮し分かりやすく統一したサイン計画を策定し、施設整備の完了に併せて順次設置を進めていく。	4,530 (3,930)
観光資源とプログラム開発事業	温泉という大きな宝を活かすために、商店街で地域に埋もれた宝を掘り起こし、それを磨くことにより来訪者が時間を堪能できるコースづくりを進めマップを作成する。	800 (0)
観光客誘致事業	温泉の多目的活用と地域資源であるやきもの・自然・歴史・文化などを融合させることにより時間堪能型の体験プログラムの開発や定着を図る。これらの観光開発をもとに国内外からの誘客・来訪を促し、中心市街地を活性化するため、積極的な観光情報発信や誘客活動を展開する。	8,900 (4,100)
広域的情報提供事業	当市は「いで湯と陶芸のふる里」を観光キャッチフレーズに観光保養都市として観光振興に努めており温泉と自然や歴史などの観光資源を活かした多彩な観光PRが重要であることから新駅舎の観光交流センターと併せ、近隣都市の福岡・長崎を中心に観光情報の提供を図り、観光客誘致で交流人口の増加を目指す。	36,950 (5,250)
市道本町本堂線ほか7路線	景観計画の中での重点地区に含まれる市道については、自然・歴史等の地域資源を活かすとともに中心市街地との連携の強化を図り、回遊性のある道路整備を進める。	83,600 (14,000)
下水道整備	現在、温泉を含む32haの認可を受け、事業施工中であるが、補助事業とならない単独管の施工についても当該事業に取り組むことにより、公共水域の環境改善と水質向上を図るとともに、市民や来訪者に対する地区内の環境・衛生の向上を図り、住みやすく誰でも訪れたいくなるような、まちづくりを進めていく。	33,000 (0)
景観形成支援事業	市民や来訪者に対するやさしいまちづくりを目指していくために、サイン計画による整備を進めると同時に、景観計画に基づき市街地の良好な景観と町並みの景観整備を進めていくために、看板や標識等の統一化や建替えについて、景観形成のために寄与する地域や団体等に補助する制度。	1,820 (1,020)
事業効果分析	事前に設定したまちづくりの目標・数値指標についての達成状況の確認と、交付金事業の成果をふまえた今後のまちづくり方策を策定することにより、継続的な発展を目指す。	5,200 (5,200)
総 計		953,500 (61,000)
その他特記事項		